

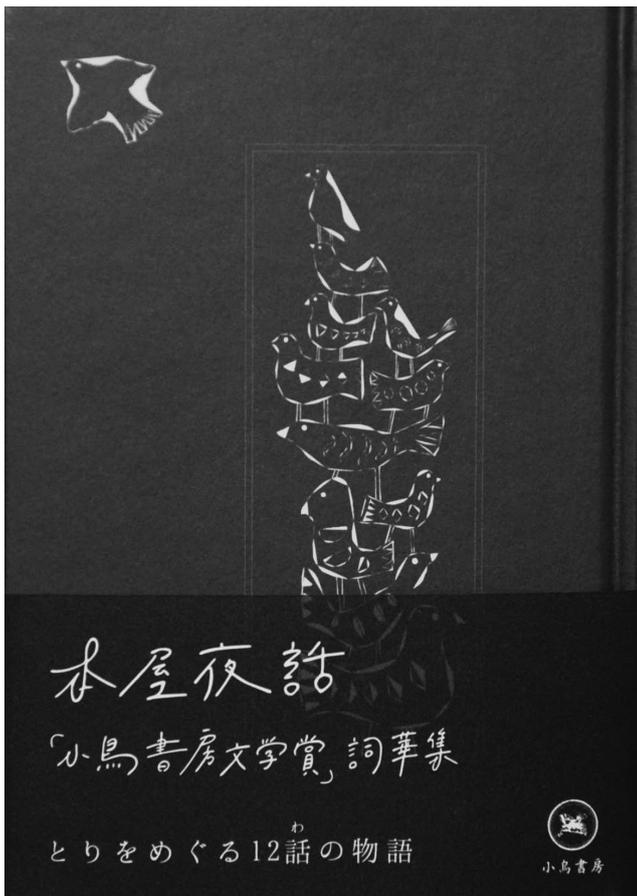


小さな本屋による「世界一身近な文学賞」のアンソロジー

# 本屋夜話

## 「小鳥書房文学賞」詞華集

### とりをめぐる十二話の物語



A6判 (文庫本サイズ)、208 頁  
上製、帯付き、巻頭巻末カラー  
定価 1,540 円 (税込)

小さな出版社であり、まちの本屋でもある小鳥書房による「小鳥書房文学賞」。読者から作者への垣根を越えるお手伝いをしたいという気持ちで立ち上げた、この「世界一身近な文学賞」に、二〇二〇年五月〜十一月の募集期間を経て、二六七点もの作品が届きました。ショートショートの作品から純文学的作品まで、「とり」文学の力作が勢ぞろい。選ばれた十二作品の『本屋夜話「小鳥書房文学賞」詞華集』が、手にとってくださるみなさんに、お楽しみいただけますように。

小鳥書房店主

※全国の町で、読書会・イベントを順次開催予定!

【直近の予定】7/21①本屋ウニとスカッシュ(長崎)・7/23②ブックバーひつじが(福岡)

#### 【審査員】

田丸雅智 (ショートショート作家)

伊集院要 (ZETA チーフ・プロデューサー)

落合加依子 (小鳥書房店主)

【掲載作品】「とり」をめぐる十二話

※作者プロフィールに所属等ある場合は、( ) 内に記載

「茶鳥のチャドリ」、ヒトを知る

— 多田長次郎

「私・芸能人・鳥」

— 西木フアビアン勇貫 (芸人)

「鳥男のかなしみ」

— 吉岡幸一

「ヒトリのハオト」

— 小石創樹

「ただ白くてほそ長い鳥」

— 堀部未知

「池くんの鶴」— 中村友理子 (デザイナー)

「トリ」— 沼田夏輝 (中学1年)

「元不良ヒヨコが大空へ」

— そーちゃん (福岡少年院)

「夜明けのコーラス」

— 高山ウエユ

「鳴いて、そして香れば」

— 鞠子まりこ

「僕の王国」

— 山田夏蜜

「とりとめのない話」

— 大石早州王



▲巻頭と巻末には、小鳥書房の本屋と商店街の写真を載せました。夏から秋へ、移ろう季節を本屋として過ごしなが、出版社として、この本の編集を続けてきました。

## ご注文 FAX 03-3291-2356 (弘正堂図書販売)

弘正堂から、書店様がふだんお使いの取次を経由して、本をお届けいたします。直取引・内容については出版社へお問い合わせください。

担当者:	書店様印	新刊	『本屋夜話 「小鳥書房文学賞」 詞華集』 A6 (文庫) 判・上製、208 頁、巻末巻頭カラー、帯付き 定価 1,540 円 (税込) ISBN 978-4-908582-08-0
		冊	ボローニャ国際絵本原画展3度入賞の 作者による詩集のような絵本 (便箋付) 山田 和明文・絵 『モノポの巣』 定価 2,530 円 (税込) ISBN 978-4-908582-02-8
		冊	現在3刷・「広島本大賞 2018」受賞! 「ばっちゃん」の料理詩集 中本 忠子 著 『ちゃんと食べとる?』 定価 1,540 円 (税込) ISBN 978-4-908582-01-1